



作者名

マツムラ ヒロミ
松村 宏美
ナカムラ スグル
中村 卓

作品名

雨包 -あめつつみ-

想定する空間

住宅の和室・茶室・居間／梅雨時の室内

想定する人

友人をもてなす住人・家族

デザインコンセプト

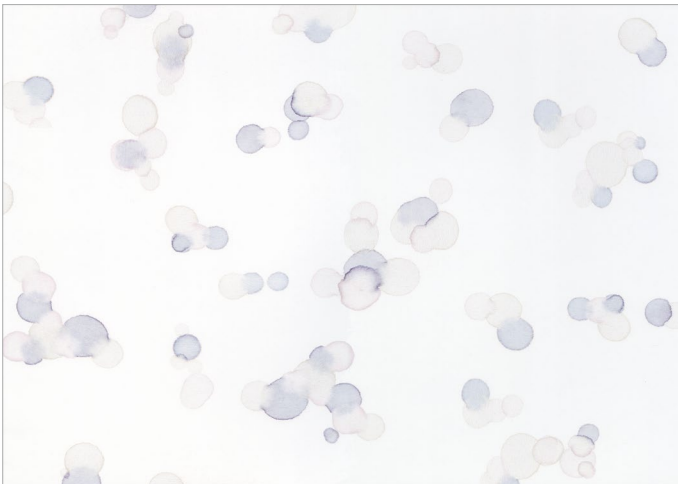
我が宿に 雨つつみせよ さみだれの ふりにしことも 語りつくさむ
(「うけらが花」／橘千蔭)

連日の雨で外に出ることも叶わず、じっとりと湿った空気とともに過ごす疎まれがちな梅雨時の室内。この壁紙は、その季節を楽しむものである。

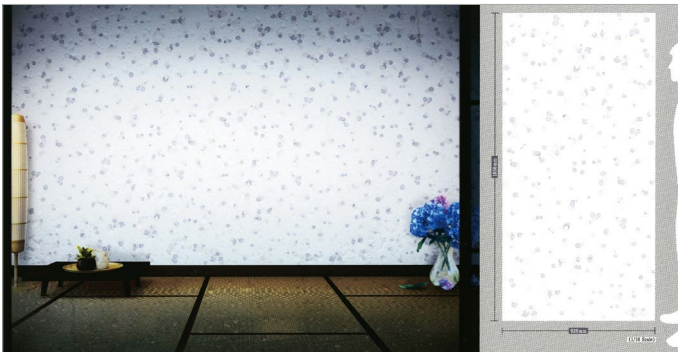
雨粒がゆっくりと染み込み、しだいにランダムな模様が室内側に浮き上がる。時間の経過とともに、染みは重なり、融和し、繊細な輪郭線を徐々に浮かび上がらせる。

三色の市販の水性ペンでインキングし、その用紙の「裏側」に浸透した模様。それは、まさに外から雨が滲みるのと同じ道筋を辿り、雨音と相俟って室内へ独特の雰囲気をもたらす。そして室内へと到達した証として、その紙のごく微細な繊維が浮き上がる。

雨「ふる」中、「ふる」い話で語らい合う、美しく詩的な日本の情景に包まれた室内を提案する。



デザイン画 A2



空間イメージ図



デザイン画 W920×H1850mm